

日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定薬剤師制度における 「薬剤師の見学実習受け入れ」について(2025年版)

【制度概要】

プライマリ・ケア認定薬剤師制度は旧プライマリ・ケア学会時代に7年の歳月をかけて検討され、2009年に要綱承認、日本プライマリ・ケア連合学会となって2011年2月に公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)の特定(専門)領域認定制度の認証(P02)を受け、2014年3月に更新認証を受けた薬剤師認定制度です。

【見学実習について】

プライマリ・ケア認定薬剤師の認定試験に受験申請するためには、研修受講による単位条件のほかに、学会の特色である地域医療の現場での見学実習をすることが必須となっています。

2011年2月に本制度が、薬剤師認定制度認証機構の認証を受けて以降、研修会も多く開催してまいりました。そして、2012年から現在まで、地域医療の現場で活躍する医師の診療の見学や、在宅診療の同行などを「見学実習」を実現してまいりました。臨床と学会活動で経験豊富な学会認定医・専門医・指導医の中から、ご了解を得た医師のもとでの見学実習をお願いするものです。

【見学実習の時間数】

見学実習は原則半日1単位に相当し、1日の見学実習で2単位となります。

見学実習の必須単位数は8単位ですので、半日で8日間、1日で4日間の見学実習が必須となります。

例えば4日間の場合、連続4日間、週1日4週間、週2日2週間など、担当医師のご都合で見学実習インターバルなどは指定自由です。受け入れるかどうかは診療などご都合に合わせていただいで結構です。

【2024年～2025年の見学実習期間と見学実習薬剤師の条件について】(2025年受験)

1. 見学実習の期間：2024年8月1日から2025年7月31日
2. 見学実習申込の条件：認定単位30単位以上を取得済みで、2025年8月に認定試験を受験する予定の薬剤師。

【見学実習の内容について】

見学実習の内容に特段の指定はありません。見学実習を担当いただくのが本学会の専門医・指導医・認定医の医師ですので、プライマリ・ケアに携わる薬剤師にとって、実際の診察の見学だけでも十分勉強になりますし、医師と患者の対話を聞くことで、両者の思いを理解できます。加えて、在宅医療や生活指導、予防医学などプライマリ・ケア医の日常を理解することで、地域医療の期待に対応できる薬剤師になれるものと考えております。従いまして、単に診療を見学させるだけでも結構ですし、患者さんが来院されて受付をされるところから診療終了までの一連の流れを見学させる、場合によっては近くの薬局まで患者さんに同行し患者さんの話を伺うという形も勉強になると考えております。可能であれば、訪問診療への同行や、心電図などの検査実施、問診係なども大変勉強になると考えております。今回の依頼先の中には研修医や医学生の研修・見学プログラムを基に薬剤師見学実習プログラム案を作成したところもありますが、それぞれの病院・診療所の都合に合わせて下さい。また、診療の合間に、プライマリ・ケアで患者中心の医療、地域でチーム医療に貢献しようとする薬剤師に対して、担当医師の医療への思いや、薬剤師への期待などをお話いただくと大変勉強になります。尚、制度詳細は学会ホームページ https://www.primarycare-japan.com/assoc/nintei/ni_ph_about/ でご確認いただけます。

ご多忙中大変恐縮ですが、よろしくごお願い申し上げます。